

学生支援に新たな奨励制度 育友会定期総会 新会長に渡辺康一郎氏を選任



02年度育友会定期総会が5月18日(土)、神田キャンパスで開催された。定期総会に先立ち、約1時間にわたって馳浩衆議院議員(昭59文・本学評議員)が講演を行った。この後、総会に入り、議事を承認、新会長に渡辺康一郎氏を選任した。

午後2時20分から行なわれた総会には本部・支部役員を始め大学教職員など240人が出席した。

小野田義之副会長が司会、初めに山根治明会長が「専大の発展のために育友会が大学と表裏一体となって、時には表に出てサポートし、キャンパスライフと一緒に盛り上げていきましょう」と呼びかけた。続いて出牛正芳学長が「活動の中心である支部懇談会は、今年で44回を数えますが、今年度は新たに1会場増え68会場で開催されます。大学としても積極的に協力していきたい」とあいさつ。学校法人を代表し、松浦洋治専務理事が日ごろのご父母の尽力に感謝のことばを述べた。

議事に移り、「01年度事業報告」「同収支決算」「同監査報告」を承認。続いて「02年度事業計画(案)」「同収支予算(案)」が説明され、今年度の新事業として、学生を多面的に支援する「育友会奨励賞」の制定を新たに提案するなど、学生支援を強める方向で計画案が出され、全会一致で承認された。

また、本部役員候補も満場の拍手で承認され、渡辺康一郎新会長体制がスタートした。渡辺新会長が「専修大学は21世紀ビジョンとして“社会知性の開発、”を掲げ、更なる発展を目指しています。私たちも大学と一体となり協力していきたいと思っております」と抱負を述べた。

このあと、渡辺新会長から松浦専務理事に「育友文庫図書目録」が贈呈された。最後に退任役員を代表して山根前会長があいさつし、森直美副会長の閉会のことばで終了した。

[6月15日/ニュース専修4面]